

目 次

まえがき

正義論と義務論理学	山下正男	1
カイル・ペレルマンの正義論	江口三角	19
法のレトリックからダイアレクティックへ	亀本洋	41
— ガスキンスの証明責任論を手がかりにして —		
現代正義論における人格概念の役割	若松良樹	59
— 視点の問題を手掛かりに —		
正義感覚と法行動	阿部昌樹	71
標準と正義	中山竜一	101
個人を強化する制度と生命倫理	浜野研三	119
— コミュニタリアンのリベラリズムと出生前診断 —		
国家と社会に対する数理的接近法	山下正男	135
<hr/>		
満鉄の資金調達と資金投入		
— 「満洲国」期を中心に —	安富歩	155
考古学的意味での家畜化とは何であったか	谷泰	229
— 人・羊・山羊間のインターラクシヨンの過程として —		
セアンスにおける災因論を通してみた霊媒の性格		
— シンガポールの寺廟の事例から —	根布厚子	275
古屋哲夫教授 略歴・著作目録		
彙報（1994年1月～1994年12月）		